

3 議事 第2次佐伯市水産振興計画に基づく事業の進捗について

基本施策1 海面・内水面漁業の振興

個別施策1-(1) 漁場環境の整備と保全 (P12)

【目標値】

取組状況	現状値	目標値（下段は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
増殖場造成面積	0㎡/年	0㎡/年	0㎡	8,000㎡
	—	—	—	
藻場保全活動の実施面積	208.8ha	220ha	220ha	220ha
	208.8ha	218.5ha	(281.5ha見込)	

【重点取組】水産資源の維持増大を図るため、市内各海域の特性に合わせた増殖施設の整備に取り組めます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> コンクリートブロックや自然石などを設置して藻場を造成し、更に種苗を放流することによりアワビ、サザエなどの磯根資源の漁場を造成します。また、魚類などの資源増大のため、餌料培養機能を備えた構造物（増殖礁）を設置します。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> 蒲江地区における増殖場本工事实施に向けた調整。 今後の漁場造成に生かすため、佐伯湾地区増殖場 効果調査のデータ分析を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 蒲江地区増殖場・・・3月測量調査完了。 令和6年度の蒲江地区における増殖場本工事（県営）実施に向け、県と補助金・負担金等について調整を行った。 今後の漁場造成に生かすため、R3～R4に実施した佐伯湾地区増殖場 効果調査のデータ分析を実施した。今後の計画づくりに活用する予定。

【重点取組】漁場環境保全のため、磯焼け対策事業に取り組めます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> 藻場の回復を図るため、磯焼けの原因である食害生物（ウニ類、魚類）の駆除、母藻の設置、モニタリングなどの活動を市内5つの活動組織が中心となり実施します。 	
計画	実施状況・成果
4月～3月、市内5つの活動組織が食害生物除去、母藻設置、岩盤清掃、モニタリング等を実施する。	4月 モニタリングを実施（米水津） 5月～11月 ガンガゼ駆除を実施（佐伯湾、米水津、入津、蒲江、名護屋） 9月～10月 岩盤清掃を実施（入津、米水津） 10月 母藻設置を実施（入津、名護屋）

	11月 ガンガゼ駆除（佐伯湾、入津）、魚類 駆除（佐伯湾、米水津）、母藻設置（佐伯湾、 米水津）、モニタリング（佐伯湾）を実施。 2月 モニタリングを実施（蒲江）
--	--

個別施策1 - (2) 種苗放流と適切な資源管理 (P13)

【目標値】

取組状況	現状値	目標値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
魚市場における放流効果調査	7魚種	7魚種/年	7魚種/年	7魚種/年
	7魚種	7魚種/年	7魚種/年	
調査結果の報告・検討会議開催	0回	1回	1回	1回
	0回	1回	1回	

【重点取組】効果的な種苗放流に取り組みます。

取組項目	
<p>・アワビ、イサキ、マダイ、カサゴなどの主要な栽培漁業種について、適地放流を推進し放流効果の向上に取り組みます。</p>	
計画	実施状況・成果
アワビ 86,920 個	アワビ 86,920 個 放流済み ^[西田川]
イサキ 148,134 尾	イサキ 148,134 尾 放流済み
マダイ 38,302 尾	マダイ 38,302 尾 放流済み
カサゴ 33,784 尾	カサゴ 33,784 尾 放流済み

取組項目	
<p>・クルマエビに関しては、「囲い網放流」や「かぶせ網放流」などの馴致放流により生存率の向上に努めます。</p>	
計画	実施状況・今後の予定
<p>・6月～7月、米水津地先において、囲い網を用いてクルマエビ種苗を放流する。</p> <p>・6月～7月、番匠川河口において、かぶせ網放流を用いてクルマエビ種苗を放流する。</p>	<p>・6月16日～7月4日、米水津地先において、囲い網を用いてクルマエビ種苗 843,728 尾を放流した。</p> <p>・6月19日～7月18日、番匠川河口において、かぶせ網を用いてクルマエビ種苗 646,971 尾を放流した。</p>

取組項目	
<p>・内水面漁業では、アユ、エノハ、ウナギ、モクスガニなどの種苗放流を実施し、あわせてカワウ防除活動を行い、資源繁殖保護に取り組みます。</p>	
計画	実施状況・成果
<p>アユ、ウナギの放流を内水面3漁協にて実施する。</p> <p>番匠川漁協にてモクスガニの放流を実施する。</p> <p>堅田川漁協、宇目町漁協でモクスガニの放流を実施予定。</p> <p>内水面3漁協でエノハの放流を実施する。</p> <p>番匠川漁協にてカワウ防止対策のテグス張りを実施する。</p>	<p>番匠川・堅田川・宇目町の3漁協においてアユ・ウナギ・エノハ・モクスガニの放流を実施。</p> <p>アユ 218,500尾 放流済み</p> <p>ウナギ 4,440尾 放流済み</p> <p>エノハ 26,850尾 放流済み</p> <p>モクスガニ 4,400尾 放流済み</p>

【重点取組】 効果的な種苗放流に取り組みます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> 放流効果を確認するため、標識を付けた種苗を放流するとともに、市場で水揚げされた漁獲物の調査を実施します。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> トラモアタグ（改良型）を装着したクルマエビ種苗を放流する。 	<ul style="list-style-type: none"> トラモアタグ（改良型）を装着したクルマエビ種苗 5,761 尾を放流した。 放流効果を推定するための市場調査を実施中（葛港市場、鶴見市場）。 10月28日、全長 17.3 cmの標識エビを1尾採捕。水産研究部で測定を行った。
取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> 調査結果を栽培漁業や資源管理に生かすための話し合いを行い、適切な栽培漁業や資源管理の推進に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
佐伯湾栽培漁業推進協議会において放流手法の改善点について協議する。	4月21日、佐伯湾栽培漁業推進協議会において「種苗の受入日程早める」など、放流手法についての話し合いを行った。

基本施策2 養殖業の振興

個別施策2-（1） 養殖環境の維持・改善 （P15）

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下段は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
作れい距離（累計）	-	427m	1,058m	1,743m
	-	427m	1,054m	
覆砂面積（累計）	-	3,3万㎡	5,2万㎡	7,1万㎡
	-	3,3万㎡	6.1万㎡	
赤潮被害件数（経営体）	10件	4件	4件	3件
		4件	4件	
消波堤の機能保全工事（累計）	-	116m	165m	226m
	-	64m	127m	

【重点取組】 赤潮被害を軽減する海域づくりに取り組みます。

取組項目	
<p>・閉鎖性海域の湾口部を作れいし、外洋との海水交換を促進することで水質改善に取り組みます。</p>	
計画	実施状況・成果
<p>11～3月に作れいを下入津側を実施する。 【工事計画】 R4.5.6 下入津側 1,500m R7.8 上入津側 1,500m</p>	<p>11～3月に下入津側に作れいを627m実施した。</p>

取組項目	
<p>・作れい土砂を底質が悪化した海底に覆砂することで、底生生物の生育が可能となります。生産性の高い漁場環境づくりに取り組みます。</p>	
計画	実施状況・成果
<p>11～3月に覆砂を2.5万㎡実施する。</p>	<p>11～3月に覆砂を2.9万㎡実施。</p>

個別施策2-（1） 養殖環境の維持・改善 （P15）

【重点取組】赤潮監視体制の強化に取り組みます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・県、市が一体となって赤潮調査を実施するとともに、赤潮初期発生に設置した赤潮自動観測装置の迅速な情報共有により赤潮被害軽減に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・赤潮調査の実施、赤潮自動観測装置の情報共有を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤潮調査の実施、赤潮自動観測装置の情報共有をインターネットサイトや FAX を利用し、迅速に共有できている。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・陸上及び沖合養殖イカダに水温、溶存酸素、クロロフィル等の水質が把握できる ICT 機器を設置し、赤潮監視の強化に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・入津湾に2基設置予定。 畑野浦蒲江加工所先 竹野浦河内湾内 	<ul style="list-style-type: none"> R6年2月に入津湾に2基整備した。 竹野浦河内湾内 下入津支店へい死魚処理場

【重点取組】養殖場の整備及び維持・管理に取り組みます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・安心して養殖できる環境づくりのため、消波施設、浮消波施設等の維持管理に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・屋形島工区消波堤の機能保全工事を実施する。 ・大島の浮消波施設の機能点検を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県営工事により屋形島工区消波堤の機能保全工事63mを実施。 ・大島の浮消波施設の機能点検を実施した。 (市から JF 鶴見支店に業務委託)

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・養殖施設の機能保全のため、方塊の改修等、機能が低下した施設の整備に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助事業（沿構）による令和7年度の実施に向けて、県漁協上入津支店と調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助事業（沿構）による令和7年度の実施に向けて、県漁協上入津支店と調整中。 ※令和6年5月に国へ概算要望予定。

個別施策2－(2) 養殖経営の改善 (P16)

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下記は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ICT 活用型自動給餌機整備（累計）	—	—	5基	10基
	—	—	0基（リース 使用5期）	
かぼすブリ生産量	514 t	127 t	546 t	563 t
	514t	139t		
かぼすヒラメ生産量	49 t	50 t	59 t	65 t
	49 t	52t	50 t	
フィレ加工尾数	69万尾	65万尾	65万尾	100万尾
	69万尾	46万尾		

【重点取組】ICTなどの新技術を活用した養殖業を推進し、養殖業の経営力強化に取り組みます。

取組項目	
<p>・マダイ、シマアジのICT活用型自動給餌機など、養殖におけるICT技術の実証を進め、スマート水産業を目指します。また、生産工程の自動化によるコストカットで養殖業の収益向上に取り組みます。</p>	
計画	実施状況・成果
<p>・ICT型自動給餌機の導入による生産工程の自動化によるコストカットを目指す。</p>	<p>・ICT型自動給餌機の補助メニュー策定に向け、県と意見交換を行い、漁協を通じて希望する経営体調査を行う。</p>

【重点取組】付加価値の高い養殖魚づくりに取り組みます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> かぼすブリ、かぼすヒラメをはじめとしたブランド魚の普及、増産に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<p>都市部での販売促進イベントに出展し、普及拡大を図る。</p>	<p>福岡の西鉄ホテルで「西鉄ホテル大分佐伯フェア」を開催し、かぼすブリを中心に料理を提供した。リピーターも多く、1月末時点でかぼすブリフィレを約 200 kg消費しており、ブランド魚の普及に繋がった。また、福岡の業務用生鮮販売店であるたべごろ百旬館で飲食店向けにかぼすブリフィレの特別販売を行った。前年比約 1.5 倍である約 370 kg を販売し、飲食店においてもブランド魚の普及が進んでいると考えられる。</p>

○実施にあたっての課題、目標達成の見込み

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> フィレ加工等を行う、大分県漁協水産物加工処理施設（蒲江加工場）の整備に取り組みます。 国内市場の縮小が懸念されることから、海外の有望なマーケットに対して佐伯産水産物のPR等の輸出対策に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> 大分県漁協水産物加工処理施設（蒲江加工場）の整備を実施する。 佐伯市農林水産物等輸出促進協議会会員である大分県漁業協同組合と連携し、韓国、中国での販促活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 大分県漁協水産物加工処理施設（蒲江加工場）の整備を実施中。今年 8 月竣工予定。 県漁協、佐伯市シングルシード協議会、佐伯市輸出入協同組合と連携し販促活動を実施し、8月に佐伯市シングルシード養殖協議会がジャパンインターナショナルシーフードショーにおいて冷凍、冷蔵マガキを出店し、PRを行った。100社程度を名刺交換を行い、16社が取引に繋がりそうであった。

個別施策2－(3) 環境に配慮した新たな養殖業の推進 (P17)

【目標値】

取組状況	現状値	目標値（下記は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
カキ類養殖経営体数	6戸	11戸	12戸	13戸
	6戸	11戸	11戸	
ヒオウギガイ天然採苗個数	1.8万個	1.5万個	2万個	2.2万個
	1.8万個	1.5万個	0.6万個	

【重点取組】環境に優しい二枚貝養殖（カキ類、ヒオウギガイなど）を普及します。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> カキ類養殖については、漁労作業の省力化を図るため、バスケット式養殖の普及に取り組みます。 ヒオウギガイ養殖については、種苗確保困難なため、天然採苗技術の開発に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> カキ養殖のスタートアップ支援として、養殖用バスケットの貸与事業を行う。 ヒオウギガイ採苗効率の向上を目的に、改良した採苗器を設置し、採苗個数の増大を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> カキ養殖のスタートアップ支援として、養殖用バスケットの貸与事業を行う。 5月～10月にかけて、ヒオウギガイ採苗効率の向上を目的として、採苗器や採苗時期の改良試験を施した。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> 新規就業しやすい環境づくりを図るため、国内や輸出による出荷形態も含めた二枚貝養殖の経営モデル指標を策定します。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> 経営モデルを活用して、希望者に対しカキ養殖のガイダンスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 12月、漁協を通じ希望者調査を実施したが、希望者がいなかった。今後も引き続き漁協、また、漁業者へもニーズ調査を行う。

○実施にあたっての課題、目標達成の見込み

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> 二枚貝養殖の普及に向けた各海域での試験養殖に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> 8月以降、カキ養殖スタートアップ支援のため、新規養殖希望者3名に養殖用バスケットを貸与する。 	<ul style="list-style-type: none"> カキ養殖スタートアップ支援のため、県の指導のもと新規で試験養殖の開始を希望する漁業者に対し、養殖用バスケットを貸与する。

個別施策2－（3） 環境に配慮した新たな養殖業の推進 （P17）

【目標値】

取組状況	現状値	目標値（下記は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
カキ類養殖経営体数	6戸	11戸	12戸	13戸
	6戸	11戸	11戸	
ヒオウギガイ天然採苗個数	1.8万個	1.5万個	2万個	2.2万個
	1.8万個	1.5万個	0.6万個	

【重点取組】ブリ養殖の赤潮対策及び環境負荷を低減した養殖手法の開発に関する取組を行います。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・赤潮などの影響の少ない水深帯での養殖可能となる浮沈式生簀の開発に取り組みます。 ・赤潮避難時における中層での給餌方法の実用化に向けた検証に取り組みます。 ・環境に配慮した高耐久性のブイ及び銅合金製金網を用いたブリ養殖の実用化に向けた検証に取り組みます。 ・カキ殻で実証されている底質改良効果についてアコヤガイでの検証に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・R4 に上浦でブリ養殖業者であるアクア事業所にて、銅合金製浮沈式生簀を設置。 ・R4～R6 にかけて行われる調査研究を引き続き実施する。 	R4 に銅合金製浮沈式生簀を設置。R4 からR6 にかけて、大分県及び関係機関がブリの遊泳行動監視等の調査研究を行う。 ※10 月下旬に調査検討会を行い、銅合金製生簀が通常金網より付着物が少ないことが確認できた。

基本施策3 担い手の確保と育成

個別施策3- (1) 新規就業者の確保 (P19)

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下記は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規就業者数	26人	26人	27人	27人
	26人	32人		

【重点取組】各種就業フェアに参加し、雇用機会の創出に取り組みます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・本市漁業の魅力と具体的な就業情報を提供するため、漁業就業希望者に対する説明資料やPR動画を作成します。 ・都市部で開催される『漁業就業フェア』・『移住フェア』などに出向き、本市漁業の魅力やPRするとともに、就業希望者との面接機会を増やして新規就業者の確保に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・都市部で開催される『移住フェア』において、希望者に対し本市水産業の説明等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月17日に東京都で開催された『ふるさと回帰フェア』において、本市水産業の説明等を行うブースを設置した。希望者なし。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保のため県内高等学校などと連携し、インターンシップに取り組みます。〔池田2〕 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の養殖会社において高校生のインターンシップを実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月6日、県が主体となって高校生の水産業インターンシップを実施。受け入れ事業所は、西南水産（佐伯市上浦）のマグロ養殖施設。参加者は大分県立海洋科学高校の生徒8名。

個別施策3－(1) 新規就業者の確保 (P19)

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下記は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規就業者数	26人	26人	27人	27人
	26人	32人		

【重点取組】新規就業者の就業知識の習得や経営支援に取り組みます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・大分県漁業学校などの研修支援に取り組みます。 ・新規就業者の定着促進を図るため、経営が不安定な就業後間もない時期に、初期投資などに関する負担軽減のため、給付金の支給に取り組みます。 ・新規就業希望者に対し、技術指導や研修先の紹介などを行います。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・新規就業希望者に大分県漁業学校への研修支援、また、就業相談対応を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月、新規就業希望者1名（陸上養殖）が大分県漁業学校に入校し、研修を開始した。令和6年3月修了予定。 ・漁業就業に関心がある相談者に対し、就業方法や支援制度などをレクチャーした（4月1名、10月1名）。

個別施策3-（2） 担い手の育成 （P20）

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下記は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学校などでの料理教室、水産教室の開催	3回	5回	3回	3回
	3回	6回	4回	
後継者向けの研修会の開催	1回	1回	1回	1回
	1回	1回	1回	

【重点取組】水産業の将来を担う人材育成に取り組めます。

取組項目	
<p>・漁業後継者団体は、各種研修活動や水産振興活動に取り組めます。</p>	
計画	実施状況・成果
<p>管内8支店の漁協青年部を中心に水産振興活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントへの参加 ・海岸清掃活動 ・魚食普及活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントへの参加 9月 鶴見豊魚祭に出店 10月 上浦食祭りに出店。 米水津おさかな祭りに出店。 11月 佐伯みなとお魚フェスタに出店。 豊かな海づくり大会1年前プレイベントに出店。 ・海岸清掃活動 8月 県漁協蒲江支店青年部実施 10月 県漁協蒲江支店青年部実施 11月 県漁協名護屋支店青年部実施^[岩井3]
取組項目	
<p>・次世代の水産業を担う子供たちに水産業の魅力を伝える取組をします。</p>	
計画	実施状況・成果
<p>佐伯市内の高等学校生徒に養殖業について説明を行う予定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月11日、日本文理大学の学生を対象としたインターネット講義『佐伯市の水産業』を実施した。（対象：学生約15名、教員3名）

基本施策4 水産物の販路拡大

個別施策4-（1） 魚食普及と都市部へのブランド発信 （P21）

【重点取組】 地元での消費拡大のため、魚食普及活動に取り組みます。	
取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> 小中学生、高校生等を対象にした魚のさばき方教室 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> 蒲江翔南学園、米水津中学校2年生、鶴見中学校、松浦小学校、別府溝部学園にて魚の捌き方教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1月に鶴見中学校1年生を対象に魚の捌き方教室を実施。 2月に蒲江翔南学園7年生、米水津中学校2年生、別府溝部学園食物栄養学科の生徒を対象に魚のさばき方教室を実施。【岩井41】
【重点取組】 都市部へ向けて、佐伯産水産物の魅力を発信する取組を行います。	
取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> 全国農林水産祭等での販売促進活動 都市部でのイベント、店舗等への食材の提案 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> 大分県水産加工協議会等と連携し、水産加工品の消費拡大を図る。 市ブランド推進課と連携し、福岡市、東京でのイベント出店による佐伯産品の消費拡大を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月13日～18日に福岡市にて開催された九州オータムフェスティバルに参加（9/13～9/15）し、佐伯産の干物のPR活動として、試食販売を行った。 11月10日～11日に東京都で開催された全国農林水産祭にて佐伯産干物のPR活動を行った。 11月14～17日に福岡の業務用生鮮販売店であるたべごろ百旬館で飲食店向けにかぼすプリフィレの特別販売を行った。前年比約1.5倍である約370kgを販売し、飲食店においてもブランド魚の認知が進んでいると考えられる。 11月17日～18日に福岡県の百旬館にて佐伯フェアを開催し、店頭前でヒオウギガイの実演販売を行った。 11月24日～26日に東京都で開催された地獄蒸し祭りにて佐伯産魚のPR活動を行った。

	<ul style="list-style-type: none">• 1月9日～2月29日に都市部である福岡の西鉄ホテルで「西鉄ホテル大分佐伯フェア」を開催し、かぼすブリを中心に料理を提供した。リピーターも多く、1月末時点でかぼすブリフィレを約 200 kg消費しており、ブランド魚の普及に繋がった。
--	---

個別施策4-（2）水産加工品の普及（P22）

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下記は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
干物体験教室の実施	6回	6回	6回	6回
	6回	6回	6回	
水産加工品を活用したレシピ開発	0個	1個	1個	1個
	0個	1回	0個	

【重点取組】 幼少期からの魚食普及や子育て世代に向けた加工品を使用した新しい調理法の開発などの活動に取り組めます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> 干物七輪焼き体験教室の開催 食育推進協議会等との連携 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> 魚食普及の取組として市内5校市外1校の小学校において干物七輪焼き体験を実施する。 また、杵築市、竹田市、豊後大野市の延べ13会場においてお魚料理教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 魚食普及の取組として市内5校、市外1校にて干物七輪焼き体験を実施した。 10月6日佐伯市立東雲小学校 11月2日佐伯市立佐伯小学校 11月16日佐伯市立蒲江翔南学園 12月7日佐伯市立直川小学校 1月18日佐伯市立切畑小学校 2月2日 由布市立阿南小学校 杵築市、竹田市、豊後大野市の延べ13会場においてお魚料理教室を実施した。

【重点取組】 多様化する消費者ニーズに対応した商品開発に取り組めます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> 高校生による新商品の提案 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> 佐伯豊南高校が行う佐伯産ブリを用いたレシピ開発に対し、支援を行う。 水産加工品の商品開発に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月4日、佐伯豊南高校の生徒による佐伯産ブリを用いたレシピ開発に対し、情報提供等の支援を行った。（料理名：「ヤンニョムぶり！ホットク」、うまいもん甲子園 九州大会出場）

個別施策4-（3）水産物の輸出拡大（P22）

【重点取組】水産物の輸出を促進するため、佐伯市農林水産物等輸出促進協議会と連携し、各種活動に取り組みます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済成長中の東アジアや東南アジア諸国を中心に販路を開拓していきます。 ・ 輸出相手国の食文化やニーズ及び流通形態を把握するため、海外で行われる食イベントなどに参加し、佐伯産品を売り込みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐伯市農林水産物等輸出促進協議会会員である大分県漁協協同組合は韓国、中国での販路開拓活動、佐伯市輸出入協同組合で台湾、シンガポール、シングルシード協議会は東京シーフードショーに参加する予定であり、活動をサポートしていく。 	<p>佐伯市農林水産物等輸出促進協議会会員の活動について支援及び補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月に佐伯市シングルシード養殖協議会がジャパンインターナショナルシーフードショーにおいて冷凍、冷蔵マガキを出店し、PRを行った。100社程度と名刺交換を行い、16社が取引に繋がりそうであった。 ・ 11月に佐伯市輸出入協同組合が台北でブリの解体ショーを行った。ブリのPRに加え、台湾の食文化の変化やニーズを把握することができた。

基本施策5 共同利用施設の整備

個別施策5-（1） 漁業の実情に則した施設の整備（P23）

【目標値】

取組状況	基準値	目標値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
広域浜プランの改訂	—	1	—	—
	—	1 [池田5][池田6]	1	—

【重点取組】 漁業者が利用しやすい効率的で効果的な施設の整備に取り組みます。

取組項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜プランに計画されている製氷施設や冷凍貯蔵施設及び水産加工施設などの整備について、優先順位をつけて計画的に取り組むとともに、民間活力の導入による施設整備についても検討します。 ・ 切れ目なく次期浜プランに移行するため、改定時期となっている地域浜プランの策定に取り組みます。 	
計画	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期浜の活力広域プラン（令和3年度～令和7年度）に基づき、漁協共同利用施設の整備に対して支援を行う。 <p>【沿構・沿整事業】</p> <p>漁協水産加工処理施設整備事業（本店）</p> <p>【沿振特事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空中・水中ドローン購入（蒲江4支店） ・ 給油管理システム（下入津支店） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期浜の活力広域プラン（令和3年度～令和7年度）に基づき、漁協共同利用施設の整備に対して支援を行う。 <p>【沿構・沿整事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水産加工処理施設（蒲江加工場）の整備を進めている。R6.8 竣工予定。 <p>【沿振特事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空中・水中ドローン（蒲江4支店）を8月に購入済み。 ・ 給油管理システム（下入津支店）を2月に導入し、供用を開始した。

基本施策6 公設卸売市場の環境整備

個別施策6-(1) 市場施設の環境整備 (P26)

【重点取組】 葛港市場及び鶴見市場の再整備に向けた取り組みを行います。

取組項目

【葛港市場】 佐伯市市街地グランドデザインに示された賑わいづくりとあわせて方向性を整理し、民間活力を入れた整備を行います。

【鶴見市場】 国・県等の補助事業の採択を前提に、市場の効率的な整備・運営が見込める事業スキームについて検討します。

施設配置や動線、規模、運用方法、品質、衛生管理の水準について、現場レベルで検討を行い、望ましい施設のあり方を示唆していきます。

法改正や時代の要請に対応し、衛生管理・品質管理等の徹底を進めます。

葛港市場の検討状況	鶴見市場の検討状況
6月 市役所内での協議 7月 株式会社佐伯魚市場、佐伯市鮮魚仲買人組合との協議 8月 大分県漁協佐伯支店と協議 12月 佐伯鮮魚仲買人組合と意見交換 大分県漁協(株)佐伯魚市場、佐伯市と合同協議 1月 佐伯鮮魚仲買人組合と意見交換 現在、協議進行中	6月 鶴見支店職員、漁業者、買受人を対象に現地説明会開催 7月 鶴見支店との協議(規模縮小協議) 8月 コンサルタント、鶴見支店との協議 9月 鶴見支店協議、県漁協本店との協議 10月 第3回鶴見市場整備検討委員会開催 ※令和4年度基本構想時からの規模縮小案承認(セリ場を中心とし、耐震性の無い箇所のみ)の整備) 1月 県南運営委員長・支店長会議へ提案 県漁協理事会へ提案 2月 第4回鶴見市場整備検討委員会開催 3月 基本計画策定 【今後の予定】 令和6年度 基本設計 令和7年度 実施設計 令和8年度～工事開始(11年度中竣工予定)

基本施策 7 管理漁港の機能保全と強化及び漁港施設の新設

個別施策 7- (1) 漁港施設の長寿命化 (P29)

【重点取組】老朽化が進む漁港施設を計画的に補修・補強します。

取組項目	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・水産物供給基盤機能保全事業 (対象漁港) 羽出漁港 大島漁港 ・海岸保全施設整備事業 (対象漁港海岸) 入津漁港海岸 西野浦地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・羽出漁港(物揚場L=51.8m)の保全工事を9月に発注し、令和6年3月に完成。 令和6年度事業完了予定。 ・大島漁港(防波堤L=41.4m)の保全工事を6月に発注し、令和6年1月に完成。本年度事業完了。 ・入津漁港海岸西野浦地区(護岸L=271.8m)の測量・設計業務委託を7月に発注し、令和6年3月に完了。令和6年度から保全工事を実施し、5箇年(令和10年度)で事業完了を目指す。

個別施策 7- (2) 漁港施設の機能強化 (P29)

【重点取組】台風などによる高波被害が予想される漁港施設及び地震・津波に対して十分な安全が確保されていない漁港施設について機能強化・防護対策を行います。

取組項目	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> 漁港施設機能強化事業 (対象漁港) 元猿漁港 	<ul style="list-style-type: none"> 防波堤の機能強化工事(消波ブロック40t型製作19個)を8月に発注し、令和6年2月に完成。 令和6年度事業完了予定。

個別施策 7- (3) 漁業活動と関連する漁港の一体的な整備 (P30)

【重点取組】漁港泊地内の静穏度を向上させ漁業活動への安全性を確保するため、防波堤を新設します。

取組項目	実施状況・成果
<ul style="list-style-type: none"> 長田地区水産生産基盤整備事業 (対象漁港) 長田漁港 	<ul style="list-style-type: none"> 防波堤工事(基礎工L=46.9m、本体工L=24.0m、被覆・根固・消波工1式)を7月に発注し、基礎捨石が入手困難なため工事中止(9月~12月)により、繰越手続きを行い、令和6年4月に完成予定。 また、その2工事(本体工L=30.0m・基礎・被覆・根固・上部工)を9月に発注し、前工事との調整のため工事中止(1月~2月)により、繰越手続きを行い、令和6年5月に完成予定。令和8年度事業完了を目指す。

【重点取組】漁業活動の効率化を図るため、物揚場や道路及び用地を新設します。

取組項目	実施状況・成果

猿戸地区地域水産物供給基盤整備事業 (対象漁港) 猿戸漁港	岸壁 1 式・物揚場 L=50.0m・護岸 L=33.1m 道路 L=87.3m・用地 1 式の工事を 9 月に発注し、令和 6 年 3 月に完成。令和 6 年度事業完了予定。
-------------------------------------	--

個別施策 7- (4) 流木等の漂着物の回収・処理 (P30)

【重点取組】台風や大雨などにより発生した流木やプラスチック等の漂着物が、漁業活動の支障にならないように、回収・処理を行います。

取組項目	実施状況・成果
海岸漂着物回収・処理事業 (対象漁港) 佐伯市全域	<ul style="list-style-type: none"> ・台風等の影響により、大量のゴミが漁港及び海岸に漂着し、漁業活動の支障となるため、回収・運搬・処理を行う。 ・鶴見地区クリーンアップ事業(振興局実施)を実施。回収したゴミを仮置場(最終処分場)へ運搬。 ・令和 4 年台風 14 号災害に伴う漂着ゴミ(仮置場)の処分。令和 5 年度完了。

個別施策 7- (5) 漁港区域内における放置艇対策 (P30)

【重点取組】放置艇は、船舶航行の支障、漁業活動への支障などの問題を引き起こすことから、漁協と協力して漁港内の適正化に取り組みます。

取組項目	実施状況・成果
放置艇対策事業 (対象漁港) 佐伯市が管理する 35 漁港	<ul style="list-style-type: none"> ・係留等指定施設使用許可に関する業務 ・所有者不明による放置艇を公費により撤去を行う。令和 5 年度は 5 隻を撤去済み。 ・船舶所有者が申請や撤去等に応じない場合は、佐伯海上保安署と連携し対応を行っている。